



タウンと

絶対にやめよう！不法投棄

12月10日(水)、大崎町衛生自治会では、不法投棄対策事業の一環として、ゴミ拾いのボランティア清掃作業をしました。

当日は、持留校区の農道脇のがけ地に投棄されたゴミを回収しましたが、肥料袋やタイヤ、空き缶・ビン、電化製品などいろいろなものが捨てられていました。

また、ゴミの不法投棄を抑止する目的で、防護ネットを張りました。



成人式

1月5日(月)、大崎町中央公民館にて成人式が開かれ、今年度成人を迎えた255名の内214名の方が式に参加しました。

会場に、着物やスーツで身を飾った新成人が集まると、場は華やかに彩られ、なつかしい顔ぶれとの再会に喜びの声で満ちていました。

アトラクションとして、高校生クラブの太鼓演奏が披露され、また、受付や司会進行なども高校生クラブが担当しました。

平成15年度全国児童交流事業

子ども達の遊び文化を高めることや人格的ふれあいの促進、また、健全育成活動を効果的に普及・啓発するために、全国規模による異年齢児童交流事業(じどうかんジャンボリー、全国から300人参加)が1月10日(土)～12日(月)に北海道で行われました。

今回、大崎町から参加したのは、なんこう放課後児童クラブの中から応募のあった小学生15名と引率者3名でした。現地では、真っ白な雪の景色に驚き、マイナス5度の気温の中、タイヤチューブすべりなどで楽しみ、また、北海道のおいしい食べ物や全国の特産物に夢中になっていたようです。

写真は、宿泊施設『ファミリースクールひまわり』の中庭で全員そろって撮影したものです。



たばこの播種(はしゅ)式

1月23日(金)、大崎町葉たばこ生産組合(会長・福岡一夫さん)は、横瀬のたばこ育苗センターで約37ヘクタール分の葉たばこの種をまきました。

昨年の大崎町の総販売重量は81.9トンで、販売金額は1億6,771万円でした。

会長の福岡さんは、「昨年は、10年来の不作となりましたが、今年の播種式は好天にも恵まれましたので、豊作を祈り、心を込めて種をまきました。」と、話されました。